

開催概要

日時 2022年2月16日（水）14時00分～17時10分  
方法 エコパルなごやからZOOM配信によるオンライン開催

趣旨 第4次名古屋市環境基本計画の進捗管理の一環で、市民・事業者の意識を把握し施策に反映させるためのワークショップ。部活動やサークル等で活動する学生に「環境課題の解決にむけた行動変容を進めるために、私たちは何ができるのか」について考えてもらい、実際に行動するきっかけを作る。

- 内容
- 1 開会、話題提供
  - 2 アイスブレイク
  - 3 グループワーク①（課題整理）
  - 4 グループワーク②（新規事業立案）
  - 5 発表
  - 6 まとめ・閉会



参加者 学生10名（5大学）  
コーディネーター 名古屋市立大学 曾我幸代 准教授  
ファシリテーター 3名（学生共同活動拠点N-base連携コーディネーター）

その他 まん延防止等重点措置の実施に伴い、オンライン（ZOOM）に変更して開催しました。

参加者と当日の様子

学校	学校名		人数	学年	学校名		人数
	1	2			1	2	
	愛知淑徳大学		2人	1年生		3人	
	愛知東邦大学		2人	2年生		3人	
	椋山女学園大学		2人	3年生		3人	
	南山大学		3人	4年生		1人	
	名城大学		1人				



グループワークの様子

ワークショップを知ったきっかけ

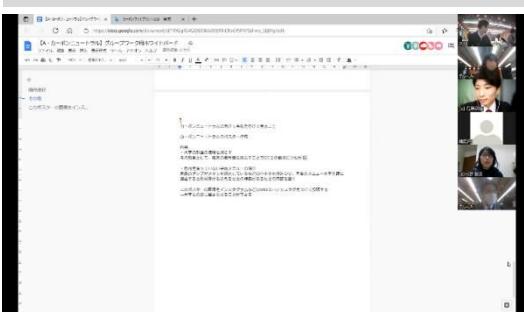
学校からのお知らせメール	5人
学校の教職員からの勧め	2人
ファシリテーター勧め	2人
友人からの勧め	1人

ワークショップを知ったきっかけ（複数選択可・該当するもの全てを選択）

環境に関心があったから	5人
他大学の学生と交流がしたかったから	5人
テーマに関心があったから	4人
ワークショップに関心があったから	4人
就活に活かそうだったから	2人
学校（教職員）から勧められたから	1人
その他（ファシリテーター勧め）	1人

ワークショップ結果

【グループA】カーボンニュートラルに向けて、今、わたしたちができること

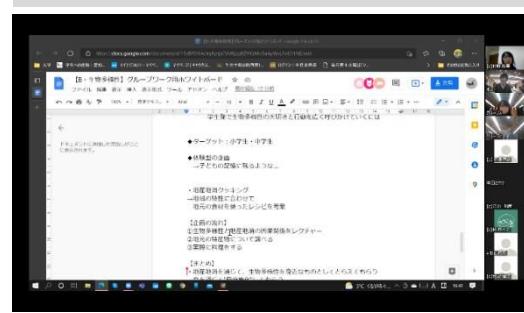


発表の様子

立案した内容  
カーボンニュートラルのポスター作成

- ◆内容
- ① 大学の部屋の使用を減らす  
その効果として、電気の使用量を減らすことでCO2の削減につながる
  - ② お肉を使っていない学食メニューの紹介  
家畜のゲップがメタンを排出しているなどの小ネタを挟みつつ、学食のメニューを学生課に提出すると割引券がもらえるなどの特典があるなどの内容を書く
  - ③ このポスターの画像をInstagramなどのSNSにハッシュタグをつけて投稿する  
→大学生の目に留まらせることができる

【グループB】学生発で生物多様性の大切さと行動を広く呼びかけていくには

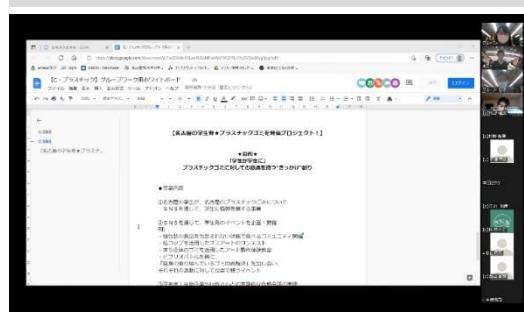


発表の様子

立案した内容  
地産地消クッキング

- ◆ターゲット：小学生・中学生  
◆体験型の企画
- 【企画の流れ】
- ① 生物多様性と地産地消の因果関係をレクチャー
  - ② 地元の特産物について調べる
  - ③ 実際に料理をする
- 【まとめ】  
・地産地消を通じて、生物多様性を身近なものとしてとらえてもらう  
→食を通じて“自分事化”してもらう

【グループC】プラスチック問題～今すぐできるプラスチックフリーアクション～



発表の様子

立案した内容  
名古屋の学生発★プラスチックゴミを発信プロジェクト！

- ◆事業内容
- ① 名古屋の学生が、名古屋のプラスチックごみについてSNSを通して、学生に情報発信する事業
  - ② SNSを通じて、学生発のイベントを企画・開催
  - ③ 学生発！民間企業や行政さんとの定期的な作戦会議の実施  
・学生への“きっかけ”創り／産官学連携  
→企業が抱える「環境問題」について学生がヒアリングしに行く  
それをSNSで学生目線から発信する
  - ④ 学生が「マイボトル」や「マイ箸」を発信する

アンケート結果

ワークショップに参加する前、環境に関する行動をしていましたか？

積極的に行動していた	2人
日常生活の範囲で行動していた	6人
ほとんど行動していなかった	2人

その具体的な内容を教えてください。（積極的に行動していた方）

- 大野や佐久島でプラスチックごみの掃除や簡単な調査
- 放置竹林の整備、ワークショップ
- 公共交通を使う。資源の無駄遣いをしないように心がける。食べ物を残さない。必要な物だけ買い、使える物はアップサイクルや修理、譲渡を活用する。物によっては、リサイクルの為に回収している所に持って行く（資源回収、衣類、包装材等）

ワークショップに参加して環境に関する行動をしようと思いましたか？

今まで以上に行動しようと思った	10人
あまり変わらない	0人

上記の理由を教えてください。

- グループワークを通して学びが深まったから
- 身近なことから環境にいい行動をとることができると知ったから
- さまざまな意見を聞き良い刺激になったから。
- 自分の行動が少しでも環境の負荷削減に繋がると良いと考えたため。
- 環境問題に対する理解が深まったから。
- まだまだ自分に出来ることがあるなど思ったから。
- 社会の変革を待たずに自主的に行動することの必要性を感じたため。さらに、個人の少しの心がけでできる行動も複数あると感じたため。
- 今回のワークショップでのグループワークによってマイ箸を持つなど簡単に取り組むことができるものを見つけることができたから。



なごや学生環境Action!  
ワークショップ  
仲間とともに楽しくなごやの環境を変えていく方法を考える  
2022年2月16日

集合写真